

- ・ JR北海道グループは、長期環境目標「JR北海道グループカーボンニュートラル2050」に基づき、2050年にJR北海道グループのCO₂排出量「実質ゼロ」を目指している。
- ・ 今回の計画では、脱炭素効果が大きいVVVFインバータの半導体素子にSiCを採用した車両を導入することで、「脱炭素社会」の実現に貢献するとともに、持続可能な社会の実現に向け、社会的責任を果たすことを目標とする。

〈事業適応計画の概要〉

1. 事業適応計画の実施期間

2026年4月～2029年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を148.2%向上させる。

3. 前向きな取組の内容

札幌運転所において、VVVFインバータ非搭載車両からVVVFインバータの半導体素子にSiCを採用した車両への置き換えを行うことで、炭素生産性を改善させる。

4. 支援措置

税制措置(カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)

〈取組の内容のイメージ〉

札幌運転所 車両置き換え

【置換前】

721系:非VVVF



【置換後】

札幌圏通勤形

交流電車

VVVF(SiC素子採用)



※ 車両デザインなどは未定